



早稲田大学 Press Release

【配布先】 文部科学記者会、科学記者会、各社科学部・
経済部、経済産業記者会、北九州市政記者クラブ

2010年7月15日

報道機関 各位

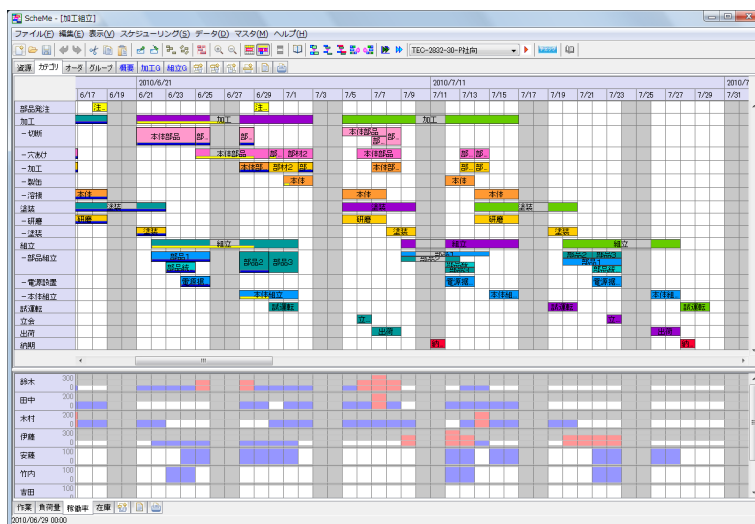
早稲田大学大学院情報生産システム研究科
(早稲田大学北九州キャンパス)

自己構築型工程スケジューリングシステムの Web 公開 ～中小企業の受注生産型工程管理に対応します～

早稲田大学大学院情報生産システム研究科藤村研究室は、自己構築型工程スケジューリングシステム *ScheMe* (スキーム) を開発し、7月下旬に試用版ソフトウェアを <http://www.fujimura-lab.org/> にて公開いたします。

開発背景

生産にかかわるスケジューリング業務は、生産環境、製品需要、原料供給など様々な環境の違いによって著しく異なります。そのため、スケジューリングシステムの開発は、個々の対象に対して個別に行われる場合が多く、高額な初期投資およびメンテナンス投資が必要とされます。このような背景のもとで、必要最小限の情報の設定によりシステム構築が可能で、ユーザの思考過程をサポートするツールとして自己構築型工程スケジュー



リングシステム *ScheMe* を開発いたしました。“自己構築型”というのは、従来のスケジューリングシステムとは全く異なるコンセプトで、煩わしい基本情報の設定を行わずに、操作を通じてこれらの情報を抽出する機能を提供するという意味です。なお、本ソフトウェア *ScheMe* は、平成16年度～17年度科学研究費補助金基盤研究(C)(2)「自己構築型スケジューリングシステムに関する研究」による基礎研究の成果をもとに、平成20年度～21年度の東芝三菱電機産業システム株式会社との共同研究により実現されました。

適用対象

- ・ 従来のスケジューリングシステムが適用できる定番製品の繰返し生産工程のスケジューリングのみならず、受注内容によって生産方法が異なる受注生産型の生産工程により適しています。受注内容が類似している過去の情報を修正して利用できる機能を提供しています。
- ・ 構造物の建設、ソフトウェア開発等の様々なプロジェクトの工程スケジューリングおよび管理にもご利用いただけます。類似するプロジェクトにすぐに対応できます。また、複数のプロジェクト間でのリソースの干渉等を管理することができ、最適ナリソース割り当てを行うことができます。

【問合せ先】 早稲田大学大学院情報生産システム研究科

藤村 茂 教授

計1枚

TEL. 093-692-5293 FAX. 093-692-5293 E-mail: fujimura@waseda.jp URL: http://www.waseda.jp/ips/